

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和7年7月31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178	日本赤十字社京都府支部 支部長 西脇隆俊
	電話番号：075-468-1182
環境マネジメントシステムの名称	(1)京都第二赤十字病院 エネルギー管理標準（独自システム） (2)京都府赤十字血液センター エネルギー管理標準
適用範囲	(1)京都第二赤十字病院 (2)京都府赤十字血液センター他4事業所
導入年月日	(1)平成19年6月1日 (2)平成22年12月28日
認証番号	
基本方針	・業務の性質及び規模に対して適切であること。 ・継続的改善及び職場環境の維持改善に関する配慮がなされていること。 ・関連する法規制及び会社の方針に則していること。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1)3ヵ年計画による省エネルギー中期目標を設定し、年度目標を設定する。 (2)以前からの取組を継続・徹底したうえで、前年度より排出量を減らすことを目標とする。
目標を達成するための取組の内容	(1)・施設別の電気、ガス、冷暖房用燃料等のエネルギー使用量を把握する。・データを年度毎にまとめて、経年的な推移を見る。・設備の新設・更新時には変圧器、電動機、照明器具、ボイラ、空調機などについて高効率機器を採用する。 (2)・施設別の電気エネルギーの使用量を把握する。・把握した使用量を年度ごとにデータ化し、推移を観察する。・効率的な作業・運転に繋がるよう、点検業者等との連携・情報交換を行う。
目標を達成するための取組の進捗状況	(1)各フロアでのこまめな消灯、すぐには使用しない機器の節電モード切替推進。 (2)・使用していない照明器具の不灯。また、使用状況により全灯と半灯を使い分ける等の工夫をする。・情報端末を含めた機器のスタンバイモードの活用。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1)当初計画どおりに取り組むことができている。 (2)基準年度、前年度と比較し、エネルギー使用量を削減できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	(1)これまで違反及び行政当局からの指摘はない。 (2)現状において違反及び行政当局からの指摘なし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	(1)評価・見直しの必要性については原則として年度毎に検討している。 (2)評価及び見直しは原則として年度ごとに検討しているが、現状で一定の成果が見られることから引き続き同じ内容で取り組んでいく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。